

はるかぜ ネットワーク

5月号

Vol.273

平成30年4月27日発行

治し支える医療強化 32名体制へ — 自立支援のための多職種連携 —



25周年企画 リレーエッセイ⑩	4
スイーツ女子部発足 他	5
健康サポート60 紫外線と対策	6~7
第228回 春風狂句	8
どう変わるの? 訪問介護	9
大好きな小物づくりを楽しむ暮らし	10
ちょっと得する栄養情報	11
心を磨く 美化委員	12
別紙) 小規模・看護小規模活動報告 他	



◆ お知らせ・ニュース ◆

- 4月28日(土) 真理子先生が産休に入ります。産休の間は理事長・院長・小出先生・高柳先生(土曜日)で診療を行います。ご理解とご協力をお願いします。
- 4月29日(日) ゴールデンウィークに入ります。春日クリニックは4月29、30日と5月3~6日が休診となります。残薬の確認と受診はお早めに。
- 5月16日(水) 14:00~第87回おりひめの会がはるかぜホールで開催されます。

(写真掲載につきましては、ご本人・ご家族のご了承を得ています)

治し支える医療強化 32名体制へ

— 自立支援のための多職種連携 —

新外来診療部

外来診療部が4月から新職種を迎えさらにパワーアップしました。医師・薬剤師・看護師・臨床検査技師・管理栄養士・医療秘書に加え、今回「言語聴覚士」と「理学療法士」が外来に常駐します。

これからの時代は「予防」と「自立」。元気な時から、自分の体、生活全般に意識を向けることが重要です。予防に関する知識を身につけておくことが、未来の自分を守ることに繋がります。住み慣れた地域で自分らしく生きていくために、自立を支援していくために、外来診療部でのトータルなサポートに努めていきます。



施設基準をクリアしています！

今回の診療報酬改定で、かかりつけ医として右記の施設基準があげられました。「ずっと診つづける」の実現に向けた今までの私たちの取り組みがそのまま施設基準になった感じです。

住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けるためには、私たちの目指す「かかりつけ医」が必要とあらためて評価されました。禁煙なんて、介護保険なんて、在宅診療なんて、と思っている方。10年後20年後のことを想像してみてください。未来を楽しむためには、今からの取り組みが必要不可欠です。

地域包括診療 施設基準

- ☑ 健康相談を実施している
- ☑ 院内処方である
- ☑ 敷地内が禁煙である
- ☑ 介護保険の相談を行っている
- ☑ 介護保険利用の通所リハビリテーションの提供
- ☑ 介護サービス事業所の併設
- ☑ 時間外対応を行っている
- ☑ 常勤換算2名以上の医師を配置している
- ☑ 在宅支援診療所である

新職種紹介

リハビリでご存知の方も多いと思いますが、基本的動作や日常生活活動を改善するための指導及びマッサージを施行します。身体を動かすことは、生活習慣病予防にもつながります。意識して毎日少しずつでも継続していくことが重要です。自立した生活を送りたいと悩んでいる方、いつでもサポートさせていただきます♪



理学療法士
松本 千春

言語聴覚士
宮崎 なぎさ

春日クリニックは在宅療養支援診療所です

総勢 32 名。全員でサポートいたします

新体制 「ずっと診つづける」をより強固に

4月に行われた診療報酬・介護報酬の同時改定。今まで以上に、医療と介護の連携や統合がキーワードになっています。超高齢社会においては、医療と介護は切り離しては考えることができません。質が高く効率的な医療提供を求められる医療側、そしてなにより医療を受ける患者側にとって自分らしい生き方の選択が必要となります。また、「予防」が大きなテーマになっていることも最初に触れました。

自分の身体に不安がある、家族の介護が心配だ、将来どうしていけばいいのか悩みがある。そんなとき、どこに相談しますか？いざ考えてみると、相談場所が分からない、という方が多くおられます。春日クリニック外来診療部は、皆さんの「かかりつけ医」として、不安があった時に何でも相談できる体制づくりを今まで以上に整えていきます。

地域における「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制を構築しようというのが、国が目指している地域包括ケアシステムです。「自分の将来は自分で決める」という覚悟をもってこれから生きていかなければなりません。

私たちは「ずっと診つづける」を実現することができるクリニックです。医療と介護が連携し、予防から病気になったとき、介護が必要になったとき、春日クリニックグループ全体でサポートします。

病気の後遺症、薬の副作用などの原因で、コミュニケーション（話す・聞く・読む・書く）や摂食・嚥下機能（食事を上手に食べる能力）に障害を持った方に対し、嚥下指導・訓練を行います。喉は全て筋肉でできているため、足腰だけでなく喉を鍛えるというのもとても重要です。おいしく食べて元気で暮らしていくための体作りを一緒にしていきましょう。



医師



看護部



検査課



管理栄養士
理学療法士
言語聴覚士



調剤課



医事課